

第2章 市民の目 —市民・事業者の環境意識—

計画の策定にあたり、市民の目から見た桜川市の環境が抱える問題点・課題を見出し、環境基本計画に市民等の要望をできるだけ反映することで、市民がより身近に感じ、実行できる計画にするために、アンケートを用いた環境意識調査を実施しました。

この章では、アンケート調査の結果を計画に反映する上で重要になる結果について抜粋しました。なお、アンケート調査のすべての結果は桜川市のホームページをご覧ください。

第1節 市民の目

◎対象者：市内に居住する20歳以上の男女1,500人

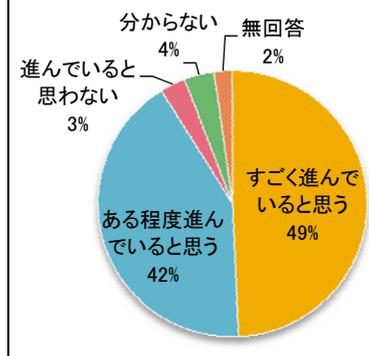
◎回収率：36.8%

1 環境・環境問題への関心

〈深刻だと思ふ環境問題〉

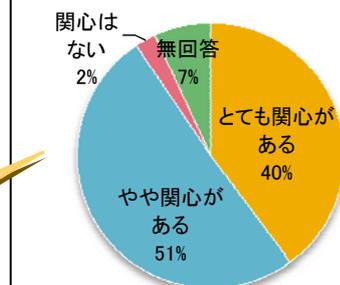
「地球温暖化」や「オゾン層の破壊」など、地球規模の問題から、「不法投棄」、「ごみの処理やリサイクル」など身近な環境問題に注目しています。

〈地球温暖化の進行具合〉



市民の目

〈環境問題への関心度〉



〈地球温暖化の影響による不安〉

地球温暖化による影響については、「異常気象による干ばつや大洪水などの災害発生」、「気候の変化による農業、漁業への影響」などを危惧しています。

〈地球温暖化に関する用語の認知度〉

「エコドライブ」や「クールビズ、ウォームビズ」などメディアによる宣伝が多いものは認知度が高く、「グリーン購入」や「低炭素社会」についてはあまり知られていませんでした。



〈環境問題並びに環境を取り巻く社会情勢に対する考え方〉

将来の環境が心配であり、次世代のために私たちが環境保全に努めるべきという意識は高いですが、環境保全のための費用負担や不便な生活には賛成意見は少ないです。

2 市の環境の現状評価と課題、展望

市民の 

〈市の環境の誇れるところ・保全したいところ〉

多くの回答が寄せられ、山や田園風景、緑といった桜川市の豊かな自然やその自然と相まってより趣深くなる歴史的建造物が市の誇りであり、残していきたい環境であることが伝わってきました。

～ベスト3～

第1位 富谷山

- ・ 富谷山からの眺めが美しい
- ・ きれいに整備されている
- ・ 富谷観音の八重桜や花々が美しい
- ・ 自然のままで残したい
- ・ 富谷山から見える富士山が美しい

第2位 雨引観音

- ・ 山との調和がすばらしい
- ・ 雨引の四季、特に紫陽花がきれい
- ・ 周辺の景色が素晴らしい
- ・ 雨引観音からの眺めが美しい



紫陽花と雨引観音 (’09 りんりんロードフォトコンテストより)

第3位 筑波山

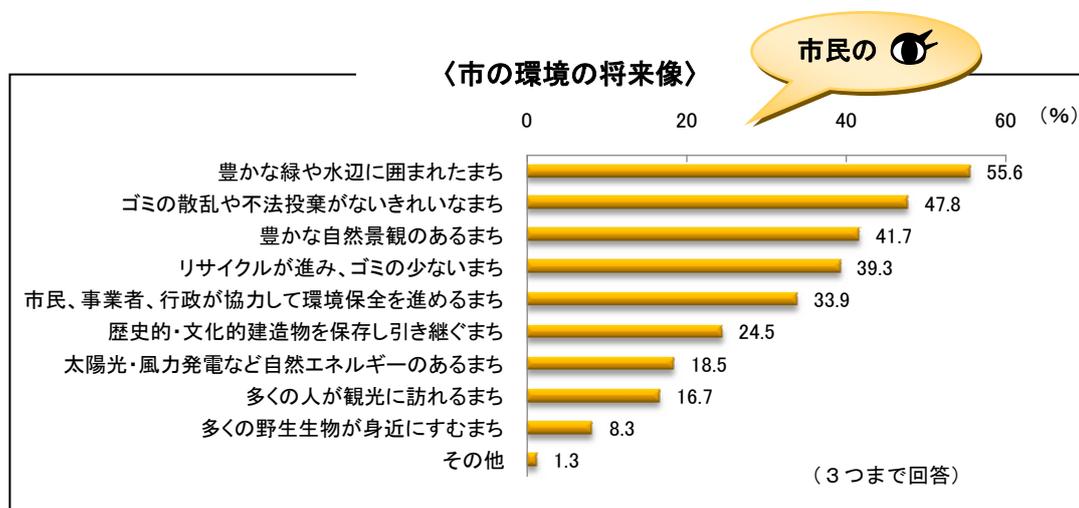
- ・ 新緑・山桜・紅葉の季節は、その美しさに感動する
- ・ 筑波山を眺める暮らしが素晴らしい
- ・ 開発より自然を残すべき
- ・ 筑波山に連なる山並みが美しい
- ・ 里山の風景をそのまま残したい

〈市全体の環境の現状評価〉

- ・現在の状況に満足度が高い環境要素
「星空の美しさ (57.0%)」、「自然景観、田園風景の美しさ (53.1%)」
「空気のきれいさ (52.7%)」
- ・現在の状況に不満度が高い環境要素
「水や水辺とのふれあいの場 (40.4%)」
- ・現在と過去 (10~20年前・20~30年前・30~40年前・40~50年前) では、過去と比較して、現在の満足度が上回っている環境要素
「災害、水害からの安全性 (43.1%)」、「環境保全に対する市民意識の高さ (19.7%)」
- ・現在の環境に対する満足度は、過去に比べ全体的に低い評価でした。

〈地域の身近な環境の現状評価〉

- ・満足度が高い環境要素
「自然の眺めが美しい (62.5%)」、「親しめるみどりが多くある (55.9%)」
- ・不満度が高い環境要素
「子どもや高齢者、障害者が安心して道路を歩ける (49.5%)」
「ゴミの不法投棄がない (46.9%)」
「家庭からの生活排水による河川や水路、ため池の水の汚れがない (39.8%)」



3 環境保全への参加意識

〈環境問題への取り組みの実施状況〉

- ・特に積極的に行われている取り組み
「可燃ゴミと資源物 (ペットボトル、牛乳パック) を分別して出している (69.9%)」
「調理くずや残り油を排水口から流さないようにしている (67.8%)」
「公園や観光地などではゴミを持ち帰るようにしている (64.5%)」

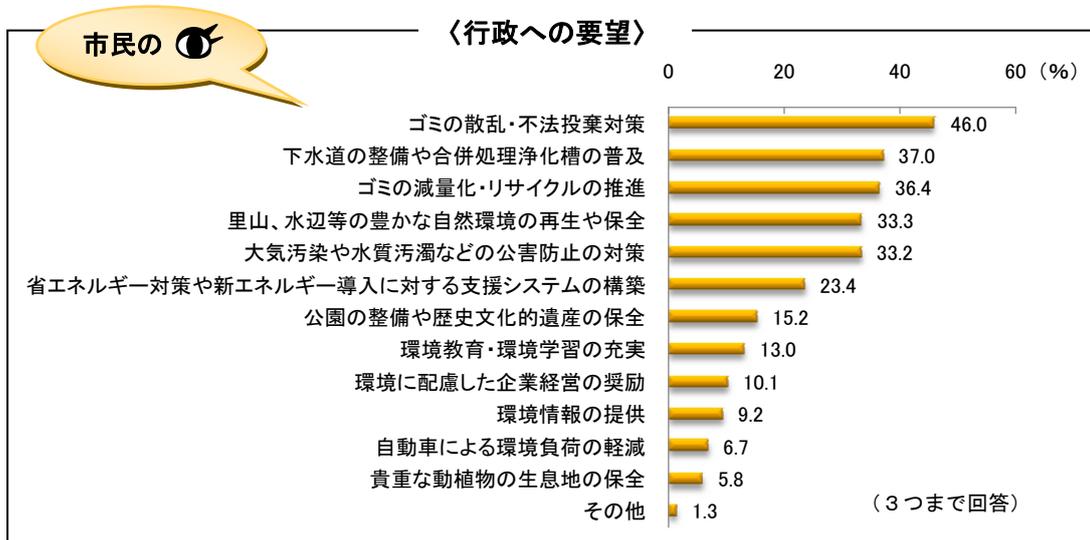
- ・情報の提供や環境に対する意識の向上などにより今後期待できる取り組み
「車の購入にあたっては、ハイブリッドカーなど環境にやさしい車の選択」
「環境保全に関する講演会や学習会への参加」
「植樹、育樹など、環境保全のためのボランティア活動への参加」

〈環境を改善するために必要な情報〉

- ・情報提供により意欲的な取組又は意識の向上が期待できる情報
「ゴミの分別・収集・リサイクルなどの情報」
「家庭でできる省資源・省エネ対策の情報」
「環境にやさしい生活や暮らしの知恵情報」
- ・情報の内容次第で前向きな取組又は意識の向上が期待できる情報
「講習会や自然観察会の開催などの情報」
「地球規模の環境問題の現状と対策・取組の情報」
「地域の自然環境・地域資源に係る情報」

〈環境保全のための市民の役割〉

- ・「市民一人ひとりもできることから暮らしを変える取組を進めるべき」と考えている一方で、行政や事業所に先駆的な行動を望んでいる市民も多いです。



第2節 子供たちの目

◎対象者：市内の中学校に通う2年生452人

◎回収率：97.1%

1 環境・環境問題への関心

〈気になる環境問題〉

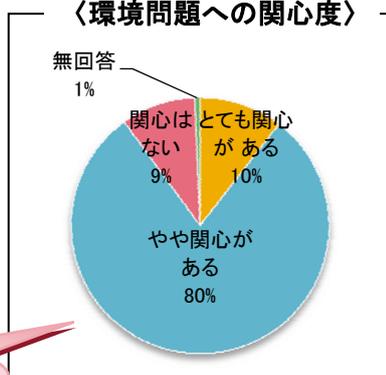
「地球温暖化」、「身近な水質汚濁」、「大気汚染」、「ポイ捨てなどごみの散乱」に注目しています。

〈環境問題に関する情報の入手先〉

生活に密着しているテレビの次に多い情報の入手先は学校で、今後の環境教育の場として有効であることが伺えました。

子供たちの 

〈環境問題への関心度〉



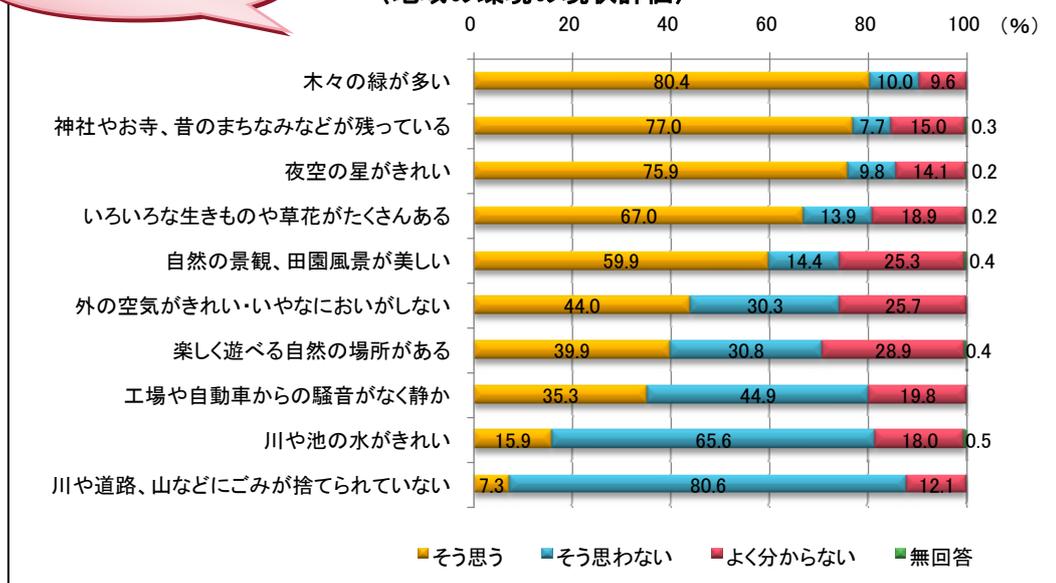
〈環境問題並びに環境を取り巻く社会情勢に対する考え方〉

- ・将来の自然環境が心配であり、次世代のために自分たちが環境を守っていくべきという意識が高く、併せて経済の発展や生活環境の向上を望んでいます。
- ・環境保全活動への参加意欲は少なく、子供たちのための環境保全活動の内容や参加スタイルの検討が必要です。

2 市の環境の現状評価と課題、展望

子供たちの 

〈地域の環境の現状評価〉



子供たちの 

〈市の環境の好きなところ〉

～ベスト3～

第1位 磯部桜川公園

- ・春の桜など景色がとてもきれい
- ・緑が豊かで落ち着く
- ・皆が楽しく遊べる



磯部桜川公園
('09 桜川市のサクラ写真コンテストより)

第2位 富谷山

- ・山頂からの景色がきれい
- ・緑など多くの自然が残っている
- ・空気がきれい

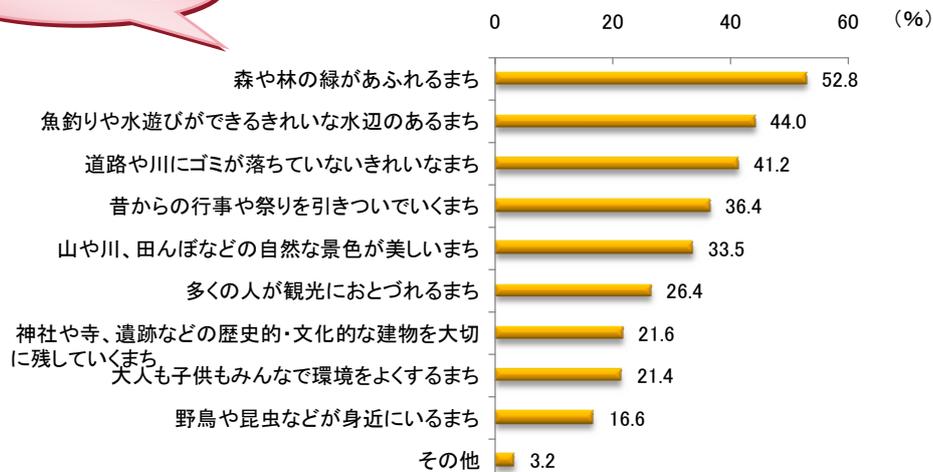
第3位 つくばりんりんロード

- ・景色が良く、静かなのでサイクリングをゆっくり楽しめる
- ・りんりんロードを利用することで遠くにも行け、地域の人とふれ合える
- ・空気がきれい

川や古い町並み、田園風景など、桜川市の特徴的な風景も人気があり、その理由については、自然の美しさや、その美しさに心が癒される様子が綴られており、子供たちにとってふるさとの原風景として心に刻まれていくものになると思われます。

子供たちの 

〈市の環境の将来像〉



3 環境保全への参加意識

〈環境に関する活動・学習会への参加状況及び参加意欲〉

- ・参加率が高いもの
「地域などでのリサイクル活動」、「キャンプなどをととした自然体験教室」
- ・様々な分野に興味を持つ年代であり、環境学習会等への参加には消極的であり、最も注目している環境問題としてあげられた「地球温暖化」に関しても、半数近くが学習会への参加意欲を示していませんでした。
- ・多くの参加者が期待できる活動は、「星座や星の観察会」であり、地域の環境の現状評価において「夜空の星がきれい」の満足度が高かったことから、星座や星の観察をととして幅広い環境教育が見込まれます。



〈環境問題への取組（行動）の実施状況〉

- ・節電や節水など、節約行動が身についています。
- ・ごみの分別やマイバッグの持参については、家庭や学校をはじめあらゆる主体により促進されていることが伺えます。
- ・大量生産により安価で手に入る理由からか、物を大切に作る習慣が少ないようです。

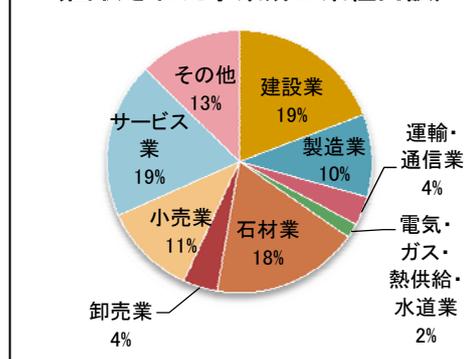
第3節 事業者の目

◎対象者：市内の事業所500事業所

◎回収率：33.4%

- ・従業員数10人以下の事業所が74%であり、ISO14001等環境ISOの取得や環境関連の担当者や担当部署の設置は難しい状況であることが伺えました。

〈回収された事業所の業種内訳〉



1 環境問題への関心

〈環境保全に対する考え方〉

- ・90%近くの事業者が、次世代のために環境保全に努めるべきであるという意識を持っており、積極性は低いものの、「環境保全のために労力の人的・金銭的負担は惜しまない」と回答しています。
- ・環境税等の新税については、半数以上の事業所が反対意見でした。

〈事業所に係る環境に関する法律、制度の認知度〉

- ・ 廃棄物やリサイクルに関する法律は認知度が高いですが、エコ・ショップ制度やエコアクション 21（中小企業向けの環境マネジメントシステム）などの環境に配慮した取り組みに関わる制度などについては認知度が低いです。

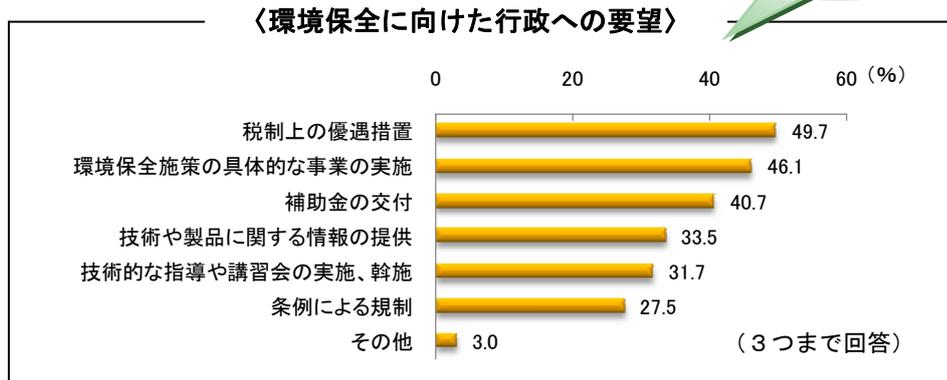
2 環境の現状評価と課題

〈自社の事業活動による環境負荷の種類〉

- ・ 事業活動による環境負荷の割合が比較的高いと回答した建設業、石材業は全体の37%を占めており、「自動車や機械などの運転による排ガス」や「騒音・振動」、「産業廃棄物」などが環境負荷の要因にあげられました。

〈環境保全の取り組みをするうえでの支障〉

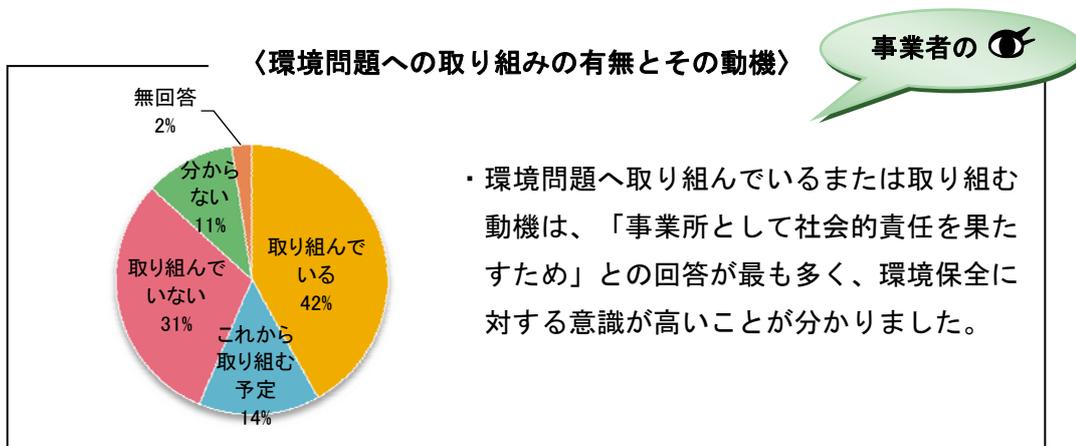
- ・ 予算的に困難であるという理由が最も多かったです。
- ・ 「支障はない」、「情報がない」などの意見もあり、取り組みやすい情報の提供又は技術支援などにより取り組みが期待できると思われます。



〈環境保全に取り組むために必要な情報〉

- ・ 環境保全に向けた対策や情報について、事業上の必要性や情報量の違いはあるものの、全体的に情報提供を強く進めていく状況であることが分かりました。
- ・ 「必要」、「あればうれしい」との回答を併せて特に必要とされる情報。
 - 「地球温暖化防止（CO₂削減など）に向けた具体的対策」
 - 「廃棄物の適正処理」
 - 「廃棄物の発生制御・減量対策やリサイクル情報」
 - 「環境教育・環境学習会の情報」
 - 「環境マネジメントシステムの情報」

3 環境保全への参加意識



〈環境問題への取り組みの実施状況〉

- ・ 実施率が高い取り組み
 - 「照明や冷暖房、OA機器などの節電（73.1%）」
 - 「廃棄物等の適正分別及び適正処理（68.9%）」
 - 「事務所で使用する水道水や地下水の節約（節水）（59.9%）」
 - 「産業廃棄物の減量化（発生抑制、リサイクル）（56.3%）」
 - 「製品または包装の回収リサイクル(家電、空き缶、空きビン、トレイなど)（52.7%）」
- ・ 今後実施が期待できる取り組み（今後はしてみたいとの回答が多かった項目）
 - 「省エネ機器の導入（53.3%）」
 - 「エコマーク商品など、環境に配慮した物品の購入（50.3%）」
 - 「従業員等に対する環境教育（47.3%）」
 - 「地域環境保全活動への支援・参加（清掃・緑化・リサイクル等）（44.9%）」
 - 「環境負荷の小さい製品の開発、販売または使用（46.7%）」



〈環境施策の実現のための行政への協力の度合〉

- ・ 「出来ることは協力しても良い」という回答が最も多く、無理のない範囲で行政への協力が期待できると思われれます。

～エコドライブについて～

市民の環境意識調査の中で、地球温暖化に関する用語の認知度が最も高かったものがエコドライブでしたが、エコドライブを実践している方が少ないことや自家用車の利用が多い状況であることが分かりました。

エコドライブとは、環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用のことで、エコドライブを実践することで、自動車の排出ガスの削減や地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出も抑制することができます。

『エコドライブ10のすすめ』

1 ふんわりアクセル『eスタート』 やさしい発進を心がけましょう

普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20kmが目安です）だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりとした気分で運転しましょう。

2 加減速の少ない運転 車間距離は余裕を持って、交通状況に応じた 安全な定速走行に努めましょう

車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

3 早めのアクセルオフ エンジンブレーキを積極的に使いましょう

エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また、減速したり、坂道を下る時にはエンジンブレーキを活用しましょう。

4 エアコンの使用を控えめに 車内を冷やし過ぎないようにしましょう

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

5 アイドリングストップ 無用なアイドリングをやめましょう

10分間のアイドリング（ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせ荷物の積み下ろしのための駐車の際にはアイドリングを止めましょう。

6 暖気運転は適切に エンジンをかけたらずぐ出発しましょう

現在販売されているガソリン乗用車においては暖気不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖気することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖気すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。

7 道路交通情報の活用 出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路 障害等の情報をチェックしましょう

1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると、14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備しましょう。また、道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。

8 タイヤの空気圧をこまめにチェック タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・ 整備を実施しましょう

タイヤの空気圧が適正值より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

9 不要な荷物は積まずに走行 不要な荷物は積まないようにしましょう

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。

10 駐車場所に注意 渋滞などをまねくことから、違法駐車は やめましょう

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。

出典：エコドライブ普及連絡会（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）